

▼ペンゲット錠 [内]

- 【重要度】 【一般製剤名】 バカンピシリン塩酸塩 Bacampicillin Hydrochloride (BAPC) 【分類】 抗生物質製剤 [ペニシリン系]
- 【単位】 ▼250mg/錠
- 【常用量】 500～1000mg/日
- 【用法】 1日3～4回
- 【透析患者への投与方法】 250～500mg/日 (5)
- 【保存期 CKD 患者への投与方法】 1回250mg を eGFR 30～50 : 6～8hr 毎, eGFR 15～29 : 8～12hr 毎, eGFR 15 未満 : 12～24hr 毎 (5)
- 【特徴】
- 【主な副作用・毒性】
- 【安全性に関する情報】
- 【F】 平均87% (1)
- 【tmax】 0.5hr, 腎機能低下で3hrに延長 (1)
- 【代謝】 代謝されてアンピシリンに変換 (1)
- 【排泄】 尿中未変化体排泄率80% [po, 24hr まで] (1)
- 【CL】 腎 CL 200mL/min (1)
- 【t1/2】 1hr (1) 透析例で9hrに延長 (1)
- 【蛋白結合率】 21% (1)
- 【Vd/F】 25L/body (1)
- 【MW】 501.98 [salt]
- 【透析性】 資料なし (1) 効率的に除去されると思われる (5)
- 【O/W 係数】
- 【肝障害患者への投与方法】
- 【小児 CKD 患者における報告】
- 【妊婦・授乳婦への投薬】
- 【主な臨床報告】
- 【更新日】 20220326

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。